

始良・伊佐地域青少年育成だより

発行 始良・伊佐地域青少年育成推進協議会
第44号 令和3年3月

899-5212 始良市加治木町諏訪町12
始良・伊佐地域振興局総務企画課地域振興係
TEL 0995-63-8109 FAX 0995-63-8108

池島 音羽さん(横川中3年生)が内閣総理大臣賞 !!

『第42回少年の主張全国大会』で受賞

池島 音羽さんは(霧島市立横川中学校3年)が少年の主張県大会と九州大会で最優秀賞を受賞し、全国大会に出場しました。今回の全国大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、web開催となりました。そのため、全国各地から応募のあった約25万人の中から、各ブロックで選出された12人の中学生が、web上で自分の思いや社会への提言などを主張しました。

その結果、九州ブロック代表の池島音羽さんが、内閣総理大臣賞を受賞しました。作文の内容等は前号に掲載しましたので、今回は、昨年の12月3日(木)に県庁で挙行された表彰伝達式の様子(写真)と本人の喜びの声を紹介します。



塩田康一鹿児島県知事から賞状を伝達される池島さん

Q「全国大会出場が分かった時の気持ちは?」

A:正直出られるとは思っていませんでした。でも、十分練習もしたし、自分なりに上手くできたとは思っていましたが、まさか全国大会には……という気持ちでした。

Q「内閣総理大臣賞受賞が分かった時の気持ちは?」

A:最初は頭の整理ができず、ぼかんとしていました。だんだん時間が経つにつれ、賞のすごさが分かってきて、とても嬉しくなり鳥肌がたちました。

Q「県知事からの「伝達式」に臨んだときの気持ちは?」

A:賞状が手元に届くまでは未だに信じられない部分があったのですが、内閣総理大臣賞の賞状をようやく頂けるのかと思ったら急に緊張しました。自分の心音が他の人に聞こえるのではないかと思います。でも、県知事がとても優しくあたたかい雰囲気の中で伝達してくださったり、話をしてくださったので、とても安心しました。



塩田知事ら伝達式関係者と記念写真に収まる池島さん

Q「今回の受賞で学んだことは? 今後どう活かしますか?」

A:人に何かを伝えるのは、とても難しいことだと思いました。でも、伝えることで何かが必ず変わると言うことも分かりました。今後さらに学習を重ね、人に何かを伝え、与えられる仕事に就きたいです。

ご案内

○「第43回少年の主張鹿児島県大会」の作文募集

本年度は、本県代表者が九州地区大会で最優秀賞、全国大会では内閣総理大臣賞を受賞する素晴らしい成績でした。来年度も作文を募集します。引き続き入賞を目指して、多数の生徒の皆さんが応募してくれることを期待しています。

提出期限・提出先は、各中学校の国語の先生へ聞いてください。

★作文の内容等詳しいことについては担当の国語の先生に聞いてください。
ご高覧の皆様、自分の周りの中学生に応募するように是非声かけをお願いします。



かごしま地域塾「優れた地域塾」に新たに5団体を認証！！

去る2月11日(木)に「かごしま地域塾活動活性化セミナー(旧=グレードアップセミナー)」が、開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、方法を変更しての開催となりました。その中で、本年度は5つの団体が「優れた地域塾」として認証されました。その認証団体を紹介します。

1 「優れた地域塾」として新たに認証された団体



地域塾名	代表者名	構成	主な取り組み
薬丸自顕流顕彰会(鹿児島市)	薬丸 兼弘	小3人 中2人, 他30人 計35人	・自顕流稽古(毎週日曜日) ・体験コーナー実施 ・各神社等での演武等
ボーイスカウト阿久根第1団(阿久根市)	上掘 博	小17人, 中5人 高4人, 他16人 計42人	・高松川イカダ下り・清掃活動 ・募金活動 ・地域活動への参加等
峰山キッズ会(薩摩川内市)	住友 沙央里	小31人 中13人, 他6人 計50人	・芋植え・芋掘り・カヌー体験 ・合格祈願ペン配布・学習会 ・小学校卒業記念コサージュ贈呈等
中央麓地区町内会そば切り踊り保存会(鹿屋市)	上梶 隆弘	小30人 中5人, 高1人 他4人 計40人	・伝承芸能「そば切り踊り」保存伝承活動 ・各種行事等への出演等
天城小校区子ども会育成会(稲作体験教室)(天城町)	資村 浩之	幼20人, 小110人 中25人, 他40人 計195人	・稲作体験(種籾播き, 田起し, 田植え, 稲刈り, 脱穀) ・餅つき大会及び敬老配布等



「第39回重富小校区少年の主張発表」をFMで生放送

始良市の重富校区コミュニティ協議会は、恒例の「第39回重富校区少年の主張発表会」を去る2月11日(木)に開催しました。当コミュニティ協議会の鹿子木巧青少年育成部長の話によると、「中止にするよりコロナ禍だからこそ、多くの人々に夢や希望を与えられる方法が取れないか協議し、今年度は、あいらびゅーFMで放送してもらうことにしました。しかも、朗読家の浜本麗歌さんの朗読指導を受けてから述べてもらうことにしました。」ということでした。

放送は、2月11日(木)の11時から12時までの1時間だったそうです。出演したのは、別表のように重富小学校の5年生3名、6年生3名、重富中学校の1・2年生各1名の計8名だったとのことでした。生放送のため、開始直前は、緊張気味の出演者たちだったそうですが、本番を迎えた発表者たちは、朗読家の指導を受け自信があったせいか、まるで別人のように落ち着いて堂々と発表したとのことでした。

重富小学校の河野英明校長の話によると、放送を聞かれた校区民の方が直接学校を訪問され「実に堂々と、とても歯切れ良く分かり易い発表で元気を貰いました。」と感想を述べてくださったり、電話で同じような声を聞かせてくださった方々が多数だったとのことでした。また、発表者たちも、「市内放送なのでとても緊張したけど、良い経験になりました。」と、とても満足していたとのことでした。

最後に鹿子木巧青少年育成部長は、「コロナのお陰で思わぬ副産物も得て、正にこれぞ『コロナ新時代』と言いたくなるような手応えを感じた生放送でした。」と、それはそれは嬉しそうに語ってくださいました。



学年	氏名	発表テーマ
5年	竹原 良流 貴嶋 亜美 沼田 紗良	「目標に向けて」 「がんばっていること」 「協力していくために」
6年	山口 はるか 脇田 梨夏 蘭田 頼武	「私は野球女子」 「かなえたい夢」 「左利き!」
中1年 中2年	横手 陽生 沼田 菜々	「一本の挑戦」 「思いやりの心」



「令和2年度『強調月間』取り組み 各市町でイベント等開催し大成果！！



令和2年度「郷土に学び・育む青少年運動」の強調月間は、昨年の11月1日（日）から30日（月）までの一か月間に渡り実施されました。その間、当地域では、各市町の教育委員会や校区コミュニティ協議会等を中心に、各種のイベント等が多数開催され、それぞれ関係者の貢献的な努力により、大きな成果が報告されました。その中で、始良市立松原なぎさ小学校で開催された「地域の方々と仲良くなろう交流会」を紹介します。

当校では、昨年の11月4日（水）と20日（金）の2日間にわたり交流会を開催しました。

当校の上栗 博文校長の話によると、まず1回目の11月4日（水）は地域の高齢者4名（男女各2名ずつ）が来校され、私たちが子どもの頃は、「お手玉」「おはじき」「あやとり」「けん玉」等で遊んでいました。と次々と遊び方を紹介し、実演されたそうです。すると子どもたちは、とても興味深そうに見入っていて、早く自分たちもやりたさそうな雰囲気だったとのことでした。

2回目の11月20日（金）の交流会では、前回示した4つの遊びを実際児童と地域の大人が遊びながら交流を深めました。このことお互いが顔見知りになり、声をかけ合うことで非行防止につながっていくというねらいも含んでの実施だったそうです。4名の鮮やかな手さばきに感心しながら、「自分たちだって!」と、意欲的にチャレンジする子どもたちでしたが、中々思うようにできず、悪戦苦闘の様子でした。そのために、逆に上手にできるようになる秘訣を尋ねたり、地域の方々と子どもたちの会話の機会も増え、和やかな活動展開となったことに、上栗校長も目標達成の十分な手応えを感じられ、意義の大きい交流会となったと大喜びでの報告でした。



けん玉にチャレンジする子どもたち



おはじきにチャレンジする子どもたち

【強調月間中における各市町の主な取り組み】

市町名	主 な 取 り 組 み 事 項
霧島市	・キウイフルーツ狩り体験（横川地区） ・乗馬体験（牧園地区） ・ドローンで遊ぶ（霧島地区） ・ふくやま散策とダイヤモンド桜島鑑賞（福山地区）
伊佐市	・PTA会員による街頭補導の実施 ・校区コミュニティと連携（意見交換会） ・「伊佐さわやかあいさつ運動」の推進 ・地域で伝統芸能の継承活動（山野）
始良市	・青少年育成市民会議環境部会の情報交換会開催 ・サイエンスあいらんど ・AIRAふるさとチャレンジャー「第一工業大学で先端技術体験」の実施
湧水町	・「一声添えたあいさつ運動」の推進 ・のぼり旗等による町民への周知活動 ・登下校時のパトロール実施 ・子ども会育成部長会の開催と運動展開の周知依頼

春の「郷土に学び育む青少年運動」の取り組みを全力で!!

お願い



来る3月11日（木）から4月10日（土）までが春の「郷土に学び・育む青少年運動」の実施期間となります。各市町教育委員会や青少年育成市民会議等の計画で、色々な活動等が展開されると思います。関係者の皆様や団体のお力添えもどうかよろしくお願いいたします!!



ご報告

かごしま地域塾「始良市ジュニア・リーダークラブ『どんぐり』」の昨今の活動から

始良・伊佐地域には、かごしま地域塾として登録している団体が、令和3年2月1日現在17団体あります。この団体は、それぞれの年間活動計画に沿って通年の活動を積極的に展開しています。ただコロナ禍の昨今は、三密を避ける工夫をすれば、何とか実施できる活動を選択しながら、慎重に活動している厳しい状況です。

その中で、今回は、「始良市ジュニア・リーダークラブ『どんぐり』」の活動を紹介します。

「始良市ジュニア・リーダークラブ『どんぐり』」は、平成12年度に市内の中高生の異年齢集団が、諸々の体験活動を通してジュニア・リーダーとしての資質向上を図ることを目的に設立されました。その後、「ふるさと学寮」や「始良市成人式」「家庭教育フェスティバル」等の運営補助をはじめ、数多くの地域行事に参加して、おおいに盛り上げるなど地域活性化の活動を脈々と継続しています。

そして、平成29年度に一層の活動充実を願って「かごしま地域塾」として新規登録しました。地域塾登録団体として4年目を迎えた本年度は、18名（中学生10名、高校生8名）の団員が、コロナ禍でもできる活動を探して積極的に活動しています。その中で、「高校生町内会長による町づくり講話」「避難所運営ゲームを通した防災教育活動」「コミュニティFMの番組作成」について簡単に紹介します。

まず、「高校生町内会長による町づくり講話」では、高校3年生で鹿児島市唐湊山の手町内会長に就任した金子 陽飛（はるひ）さん（高校3年生）を招き、地域活動を進めるに当たり、「地域を愛すること」「活動を楽しむこと」「周りの人に感謝すること」が大切なことを学びました。

次に、「避難所運営ゲームを通した防災教育活動」では、昨年8月に県立大島病院救命救急センターの高間 辰雄先生や始良市消防本部の消防士を講師に招き、防災について学習しました。その学習内容を整理し、「避難所運営について大切なこと」を伝えるゲームに造り上げました。そして、9月には、「どんぐり」の団員たちが「AIRAふるさとチャレンジャー」で、小学生にゲーム形式で伝えました。ゲーム形式のため、参加した小学生は、とても楽しそうに活動し、団員たちは、大変有意義な活動が展開できたと喜んでいました。最後に「コミュニティFMの番組作成」では、子どもたちが、地域で働く大人へインタビューを行い、ラジオ番組「放課後みらいラジオ」を制作し、あいらびゅーFMで放送されました。



高校生町内会長による町づくり講話



避難所運営ゲームを通した防災教育活動

ご案内

「かごしま地域塾」に登録して
もっと充実した活動をしませんか？



【地域塾】とは？

鹿児島の教育的風土や伝統を生かし、異年齢集団での様々な体験活動を通し、子どもたちが思いやりや自立心、社会的な規範意識などを身につける活動に取り組む団体のうち、理念に基づき精神鍛錬の場や学習活動の設定、地域に根ざした活動等、一定の要件を満たしたものをいいます。

★登録することにより、現在より活動量を増やすことが要求されることはありません。





霧島市(国分地区)の青少年健全育成活動



霧島市国分地区子ども会育成連絡協議会による交流活動の紹介 第48回新春たこあげ大会



開催日:令和3年1月10日(日)
会 場:国分海浜公園体育館、体育館前広場

「手作りのたこ」を国分海浜公園体育館前で飛ばしている風景。

上記の日程で、霧島市国分地区子ども会育成連絡協議会主催の「第48回新春たこあげ大会」を開催しました。最初にたこづくり教室で子どもが手作りのたこを作成し、その後たこあげ大会を実施しました。たこあげ大会は市販のたこでも参加でき、当日は、20名ほどの参加者で賑わいました。たこあげ大会では、自作のたこで、アイデア・デザインを対象とした「特別賞」と、自作のたこで、高さ・長時間あがったものを対象とした「大会賞」があります。子どもたちは、手作りのたこに、とても上手に今年の干支である丑の絵などを描きました。上手な絵がたくさんあり、「特別賞」の審査が難しかったです。また、国分海浜公園は、海風がとてもよく吹き、どのたこもとても高く上がりました。「大会賞」の審査もとても難しかったです。たこあげ大会に参加した子どもが、笑顔で高くあがっているたこを見ていたのが印象的でした。天候にも恵まれ、素晴らしい大会になりました。



たこ作りにチャレンジ中



さあこれらたこあげだ



たこ揚げの様子 ①



たこ揚げの様子 ②



子どもを素直に動かせる魔法の言葉は？

親の指示に素直に従う子どもに育てるにはどうすればいいの？

伊佐ちゃん： 前回「巣ごもり生活」で溜まりがちなストレス解消の心得をアドバイスして貰ったけど、本当に有難う！助かってます！！お陰様で自分の楽しみは自分で生み出そうと、工夫している姿が少しだけ見えだしたわよ。

始ちゃん： そうね、良かったね。さすがだわ。今で思いっきり誉めるのよ！！

伊佐ちゃん： 分かったわ！厚かましいけど、またまた聞いて良いかな？

始ちゃん： どうぞ、どうぞ！！私のつたない話で良ければ…。

伊佐ちゃん： 最近娘が、私の指示等に素直に従ってくれずに、ことあるごとにブツブツと文句言うんだけど…。どうしてかな！反抗期かな？

始ちゃん： そうね！伊佐ちゃん、貴女はどうだった？

伊佐ちゃん： そう言われると、自分もそんなに素直だった訳でも無いかな？

始ちゃん： そうそう伊佐ちゃん、言葉使いによって随分違うって聞いたけど！私ね「～してくれると嬉しいけど…。」「～されると悲しくなるな！」と言う表現が1番子どもを素直に動かせられると先輩から教えられて、その通りやった覚えがあるわ…。普通、親はたいがい「～しちゃ駄目!!」といっちゃうのよ!!先輩が言うには、それが最悪らしいよ!!

伊佐ちゃん： そう言われると、子どもだって自分の母親に悲しい思いはさせたくないでしょうし、逆に嬉しい思いをしてもらえるように考えて行動するようになるかも知れないね。

始ちゃん： そうそう伊佐ちゃん、伊佐ちゃんはいつも前向きだから、「なるほどね!」と思ってくれるんだったら早速チャレンジしてみたら…。

伊佐ちゃん： もちろんよ！とっても効き目がありそうだわ!! 有難う!なんだかワクワクしてきたわ!積極的に語ってみるわ!聞いてみるもんだね。

始ちゃん： 悩み解消で、明るく楽しい生活ができるといいね!期待しているね!頑張れ!伊佐ちゃん!!



青少年育成コーディネーターが行く!!



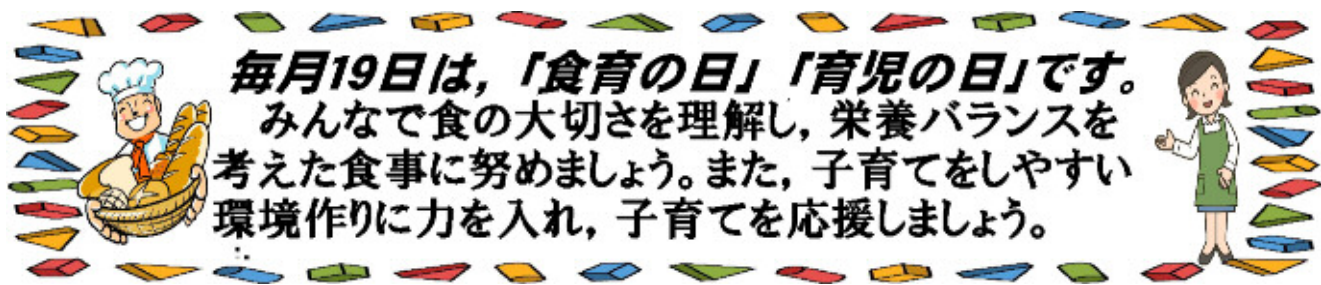
管内において、現在9名の青少年育成コーディネーターが委嘱され、日々積極的な活動を展開されています。本年度は、特にコロナ禍で各地域における青少年育成関係のイベントや活動が自粛の傾向で、活動もいつもに比べ制限されがちですが、「三密を避ける工夫をして、できるだけ実施を!」の気概で奮闘中の学校・団体もあり、青少年育成コーディネーターの方々も、それに対応しての活動展開中です。

湧水町の植林 伸洋 氏は、昨年12月4日(金)に湧水町立上場小学校の家庭教育学級・学校保健委員会で、12月9日(水)には湧水町立吉松中学校の家庭教育学級で「ネットトラブルの未然防止とKYT(危険予知トレーニング)の必要性」について、熱く指導されました。聴講者の1人は、「現状と課題をとともわかりやすく語ってくださり、これはよほど心して取り組まないと、大変なことになる。そうなるからでは、遅い。今のうちに何とかしないと痛感しました。」と話されたそうです。さらに、2月12日(金)には同町内の栗野小学校の学校保健委員会でも「ネットトラブル」の指導をされ、とても好評だったそうです。

始良市の鶴木 孝夫 氏は、西始良校区コミュニティ協議会主催の「西始良校区青少年意見発表会」が、コロナ禍により紙上発表となったため、この青少年の貴重な意見を校区内の全家庭に届けたいと願い、善後策を練られました。その結果、「鹿児島県ウイズコロナ地域活動サポート事業」の一環として1400部の冊子作成に漕ぎ着け、見事に全戸配布の願いを実現されました。

伊佐市の小山 辰生 氏は、昨年12月19日(土)に田中校区コミュニティ協議会主催の「餅つき大会」や「さわやかあいさつ運動」の推進等に貢献されました。また、霧島市の美坂 政勝 氏も地元の福山高校のPTAと一緒に同校の門松づくりに参加したり、青パトによる校区内見回りをしたりと活躍されました。

以上は、ごく一部ですが、各地区で青少年育成コーディネーターの精一杯の努力が黙々と続いています。



毎月19日は、「食育の日」「育児の日」です。
みんなで食の大切さを理解し、栄養バランスを考えた食事に努めましょう。また、子育てをしやすい環境作りに力を入れ、子育てを応援しましょう。